



2011-12



RIテーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」会長/Kalyan Banerjee(カナダ)
2620地区のテーマ「今こそロータリーの真価が問われる時」ガバナー/積 惟貞(沼津)
パワー浜松ロータリークラブのテーマ「語ろう未来、踏み出そう一歩」会長/坂井光蔵

週報

第412回例会 10月11日(火)AM 7:30~8:30 オークラアクトシティホテル浜松4F平安の間
■司会:末広 さくら ■点鐘:坂井 光蔵 ■ロータリーソング;それこそロータリー

会長挨拶

秋祭りの次期となりました。私の地域でも、この土・日曜日と祭りがありました。役を担っている事から祭典に参加しましたが、日曜の昼前に時間があつたので近隣の地区を見て廻りました。多くの人で賑わっている所とそうでない所がありました。テキヤも来ない様な田舎なので、子供会や婦人会等の自治会組織で模擬店を出しているのが殆どですが、飲食店や遊びの場などで工夫を凝らし、積極的に取り組んでいる所は人が集まり、旧態依然と変わり映えない所は閑散としている状況でした。これは仕事や街づくりに於いても同じ事で、工夫を凝らし演出をどの様にしていくかが大切ではないかと感じました。さて、皆さんは、どの様にお感じになれますでしょうか？

幹事報告

- ①既に、ご案内の通り11月20日(日)に第2620 地区大会が開催されます。役員・理事の方は、もとより未だ1度も参加された事が無い会員や新入会員の皆様にはご参加を頂きたいと思ひます。本日が最終切となりますので宜しくお願いします。
- ②2012年国際ロータリー年次大会の案内が来ています。開催期日は2012年5月5日から3泊5日と5泊7日のコースで、開催地はバンコクです。申込切は10月末です。関心のある方は幹事迄ご連絡下さい。
- ③本日、例会終了後8:40~3F・メイフェアの間で第2次新会員予定者のオリエンテーションが開催されます。関係者の方は宜しくお願いします。

委員会報告

会員増強維持部会・諸星圭吾:

第2回募集での新会員5名の例会見学ならびオリエンテーションです。又、第3回の募集も始まります。現在3名の推薦書が出ております。『100人会員増強』の目標達成には、未だ未だ遠い数字です。会員皆様のご協力を切にお願いします。



奉仕PJ委員会・堀内善弘

ねむの木学園のカレンダー注文と運動会の呼び掛け。10周年記念式典にイベントとして『ねむの木学園・園生』によるミュージカル演劇を交渉、検討しています。



デジタル推進部会・福地三則

i-phone 4s のソフトバンク仕様とau仕様の注意すべき説明。ipadをただで貰える話は注意して下さい。アメリカでは、1日に100万台の予約があり、ますますsmartphoneの時代となりそうです。



会計部会・高貝 亮

10~12月会費の納入のお願いです。浜松信用金庫、静岡銀行で10/25に自動振替となります。残高確認をお願いします。



出席部会・山村新一

来週18日(火)は、『創立記念例会』で夜間例会となります。100%出席例会です！出席出来ない方は、メイクアップをお願いします。



スマイル報告

今回はありません。

◆諸星部会長より新会員5名の紹介
ご都合により池田様は欠席でした。

長谷川 隆是様

河村 公隆 様



高林 幸裕 様

内田 勝善 様



出席

89名中52名59.77%
前々回修正出席率80.46%



2011-12



RIテーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」会長/Kalyan Banerjee(カナダ)
2620地区のテーマ「今こそロータリーの真価が問われる時」ガバナー/積 惟貞(沼津)
パワー浜松ロータリークラブのテーマ「語ろう未来、踏み出そう一歩」会長/坂井光蔵

議事卓話

第412回例会
2011年10月11日
親睦部会

奥山恵理子さん卓話

「認知症サポーター養成講座の紹介ならび現状報告」

★パワーロータリーとしての取り組みと実績！

第412回
パワー浜松RC例会

いつまでも安心して暮らせる町づくり

認知症サポーター養成講座 概要と現状報告

キャリアバリエイト(認知症サポーター養成講師)
精神保健福祉士・介護支援専門員・上級認知症ケア専門士

奥山恵理子



(卓話者:奥山恵理子)

この現状から国家的規模で認知症の早期予防・早期発見・治療・生活支援対策を平成17年に開始しました。その時期に『痴呆』から偏見を持たないで欲しいとの願いもこめて日本では『認知症』と呼ぶことを決定し、広報が始まりました。しかし、疾患として捉えたと時は痴呆(Dementia)は世界の共通の診断名なので今も変わっていません。

平成17年にはだれでもかかる可能性のある『認知症』を広く国民に広報し、もし周囲に対象の方及びご家族がいたら、理解し支援することで、誰もが住み慣れた地域で暮らせるような環境整備を目的として『認知症サポーター養成講座』の普及活動が始まりました。しかし、資金も人力についても民間の力に委ねると言うボランティア活動でした。なかなか浸透せず、苦慮していた時にパワー浜松RCが創立5周年記念事業として『認知症サポーター養成講座』を開催致しました。

標準テキスト・認知症サポーター養成講座終了書なども準備し、日本最大級の1004人の方々に認知症サポーターになっていただきました。テキストの筆頭執筆者である群馬大学山口晴康教授直々にご講演頂くこともできました。資金力のない地域づくり活動を推進するために、日本初の『認知症養成基金』も創設いただき、その結果、浜松市からも協力的支援が開始され、浜松市における認知症サポーター養成に関するしくみと地域づくり基盤が迅速に動き出しました。これは、民間奉仕団体が国家的規模のボランティア活動に多大なる協力の結果と感じています。翌年も静岡文化芸術大学大学祭において、社会奉仕委員会の主催で4回講座を開催しました。「若い世代に知らせる」貴重な機会でした。その後厚生労働省は中学生向けテキスト、小学生向けテキストを作成しました。それ以来、他RCもこの活動が始まり、パワー浜松RCへも開催協力要請が続いております。住み続けられる地域づくりも、認知症予防も「人の輪」が重要です。このようにパワー浜松RCの創立5周年記念事業が大きな輪を形成し、今も地域社会への貢献が続いております事を報告させていただきます。

また、近年研究が進んできている「認知症の正しい知識」誰もが関心のある「認知症予防の最近のトピックス」についても短時間ではありますが情報提供し、認知症の一部は早期発見・早期治療する事で良い生活ができる時間を長く保つ事ができる事を伝えさせて頂きました。創立5周年記念事業としての認知症サポーター養成講座開催から5年を経て、「認知症早期発見・早期治療の啓発」が大切な役割へと変化しつつあります。

重要な新しい役割のためにも、この輪が広がりますようご協力下さい。

中学生向け講座の案内

- 日 時：11月26日(土) 講座 14:00~16:45
- 場 所：なゆた浜北 3F大会議室 TEL053-586-6200
- 会 費：無料 (どなたでも参加できます。)
- 主 催：浜北RC・第21回在宅ケア懇談会実行委員会
- 協 力：パワー浜松RC

パワー浜松RCの取り組み

2006年10月14日

創立5周年記念事業として
「認知症サポーター養成講座」開催

- *1004人のサポーター養成(日本最大級)
- *認知症サポーター養成基金設立
(資金援助のないボランティア活動であるサポーター講座開催への日本初の資金援助制度)

パワー浜松RCの取り組みの成果①

2007年2月
浜松にてキャリアバリエイト(サポーター養成講師)養成講座開催

2007年4月
キャリアバリエイト連絡協議会 設立
(事務局:浜松市役所内)

2007年11月3・4日
静岡文化芸術大学碧風寮にて社会奉仕委員会により「認知症サポーター養成講座」開催

2007年12月22日より年1回開催
浜北RC社会奉仕委員会・静岡在宅ケア学会主催講座
パワー浜松RC協力、第8分区分各RC後援

パワー浜松RCの取り組みの効果②

- *認知症サポーター養成基金の利用
 - ・地区社会福祉協議会「社会福祉講座」
 - ・浜松市内専大講座
 - ・司法書士研修会 など多数開催

*他ロータリークラブ主催事業に協力、他地区に活動が広がる

*2008年4月
浜松市が一般市民向け講座に標準教材無償配布予算化とキャリアバリエイト交通費一部支給開始

*2009年3月
高木会長より浜松市長立会のもと、キャリアバリエイト連絡協議会に「認知症になるとなぜ不可解な行動をとるのか」を100冊寄贈
現在もキャリアバリエイト研修テキストとして活用されている。

パワー浜松ロータリークラブ

〒430-7733 Tel/Fax 053-452-0800
静岡県浜松市中区板屋町111-2 オークラクトシティホテル浜松4307号室
Email info@power-hamamatsurc.jp http://www.power-hamamatsurc.jp/